

RSウイルスも落ち着き、胃腸炎（ノロ・ロタ・アデノウイルス等）も特に報告もなく、少しのどや鼻の風邪があるくらいで、現在、子どもたちはとても元気に毎日を過ごしています。ただ、風邪のウイルスは冬に活発となります。気を抜かずに、今まで通り環境を整えていきましょう！

感染性胃腸炎に注意！

ノロウイルス、報道を見ていると重病のような、恐ろしいようなイメージがあると思います。しかしかなりありふれたもので、保育園でも「なんか朝ごはん食べなかったな」「なんか朝、機嫌悪かったな」「朝、一回吐いたけど…」と迷いながらも普通に登園してしまいやすい病気の代表です。

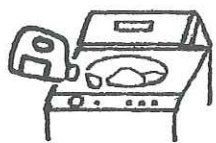
必要以上に怖がらず、子どもの苦しむ時間を最小限にしてあげる…といういつもののかかわりが、重症化をさせない（小さい子は脱水がとても怖いので）、大切なことになると思います。

汚れた衣服は…

85℃の熱湯に1分以上浸けるか（「煮る」くらいでないと十分な温度が保てないと思われず）、塩素系漂白剤を指示通り薄めた物で消毒します。



消毒ができれば洗濯機に入れて大丈夫です。



汚れた場所もしっかりと消毒を行いましょう。ここを怠ると、家族中に広がり、大変なことになります！



● 保育園では汚染後の消毒を、ご家庭にお願いしています

胃腸炎あれこれ…

● こんな時は要注意

- ・ 保育園で胃腸炎が流行っている
- ・ 近くに胃腸炎のお友達がいた
- ・ 朝、大量に吐いて顔色が悪い（初めは意外にも、吐いただけで休もうと思うほどつらそうには見えないことが多いようです）
- ・ 夜しっかり休んだのに、朝、起きたがらない・夜眠れなかった
- ・ おかしいと思うのに、熱が出ない（ロタやアデノは高熱になることが多いのですが…）または、微熱程度。

● こんな症状は要注意

- ・ うんちが白っぽい
- ・ 下痢も吐物も酸っぱい臭いがする
- ・ 前回の朝ごはんから時間が経っているのに、全然消化されていないものを、多量に吐いた
- ・ ごはんや水分を口にすると、すぐまた吐いたり下痢をしてしまう
- ・ 1～2回の下痢で、すぐお尻が真っ赤にただれてしまった（抗生剤や食べ過ぎくらいの下痢では、そんな簡単にかぶれません）

※ 保育園では熱だけでなく、症状があやしく、子どもが辛い場合にはご連絡をしています

マスクはお家から お願いします

- ・ 家族にインフルエンザの方が出た場合、必ず送迎時も含め、登園前につけてきてください
- ・ 子どもだけではなく、どんな季節でも大人もあまり咳が出る場合は、着用しての送迎をお願いします
- ・ 着用する場合は、子どもの顔の大きさに合ったものをお願いします。キャラクター物は鼻のワイヤーがなく、あまり効果が得られないかと思えます
- ・ 日頃から着用しているときに、あまりマスクをいじらないよう、声をかけて慣れさせてあげてください

● インフルエンザ発生時のお願い ●

● 体調が悪いときは、登園前に受診をお願いします

発熱後すぐに受診をしても検査をしてくれないと思いますが、接触している場合は症状をよく見て、子どもの場合は早めに受診し、重症化を防ぎましょう。保育園で流行っているときは、医師に必ず伝えてください

- ・ 保育園やまわりで流行っていて、接触している場合に、朝、元気がない・微熱がある
- ・ 特に、家族・クラスで感染者がいるような場合は、同じような症状のときは注意してください
- ・ 接触していて、「咳（乾いた感じの咳で、時間とともにどんどん悪くなる）」「発熱」「どこかを痛がる」「おとなしい（元気がない）」などインフルと似ている症状があるとき
- ・ 保育園から流行っているときに「体調が気になった。注意してみてください」とお迎え時に言われ、翌朝も元気がなかったとき

● 玄関ほけん掲示板に、感染者情報を記載しています

できる限り最新情報を！と思っています。正しい情報は早期発見や 予防にもつながります

● 家族がインフルに感染した場合も、速やかに保育園へお伝えください

忘れずをお願いいたします！

● ウエス、いつもありがとうございます。どうしても大きな女の子の服が、貸し出し用で少ない状況です。また、体操服もS・Mサイズは多く集まるのですが、Lサイズ以上がもうすいぶんと古くなってきています。もしよろしければ、着られなくなった時、ご協力ください。

● 毎年あるのですが、よく爪切り等を保育園ですることがあります。小さいお友達は友達をひっかく（または自分をかじってしまう）ことがどうしてもあります。大人が本人も友達も痛くないように爪はいつもきれいにしましょうね

〈 ケアのポイント 〉

- ・ 子どもに「いやだった」と思わせないようなケアを心がける
- ・ 嫌がった時に無理にやらない・痛い思いをさせない
- ・ 難しい年齢で嫌がるケアは、寝入りばなにそっとやってみると、起きることもなくできます
- ・ やすりは軽く、少しずついろんな方向からかけると、きれいに仕上がります

● 感染している方が送迎する場合

「症状が出ている・出勤できない」間は、玄関インターフォンで対応しています。職員がお子さまを門までお連れします

● ご家族に感染者が出た場合

医師からの登園停止がなければ、保育園では通常通りお預かりしています。ただし、接触はしているので心配はしています。可能な場合はお休みして安静にする方が身体には優しいと思っています

● 保育園に持ち込まれた場合、感染を抑えることは容易ではありません。登園マナーをお守りください

- ・ 感染期間：発熱1日前～
- ・ 検査を受けるには：発熱後約1日経過後…空白期間がどうしても生じます。この期間が、保育園での感染拡大に毎年、影響しています

● 体調が悪いときは、子どもが登園したいと言っても、大人がきちんと言い聞かせてあげてくださいね

● インフルにかかることを必要以上に怖がる必要はありません。まずは早期発見、早期対応…とにかく「かかってもしどくしない、早く治す」ようかかわることが大切です